

2026年9月17日

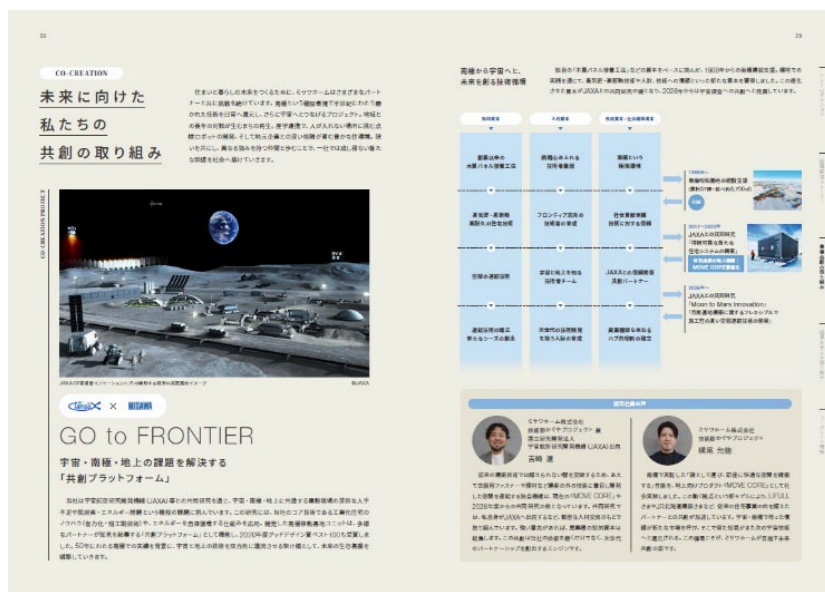
すべてのステークホルダーと未来を育む成長ストーリー

「ミサワホーム統合報告書 2026」を発行

- 理念体系「MISAWAアイデンティティ」のもと、社会課題解決に挑む「共創」を軸に構成を刷新
- 自治体や企業・研究機関など、多様なパートナーとともに推進する具体的な共創事例を紹介
- ステークホルダーとの対話を深め、持続的な成長と企業価値向上につなげる「コミュニケーションツール」として活用



表紙



共創事例ページ

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 作尾徹也）は、「ミサワホーム 統合報告書2026-MISAWA INTEGRATED REPORT-」（以下、本報告書）を、当社ホームページで本日公開しました。本報告書では、当社が保有する各種資本を基盤とした、持続的な企業価値向上への取り組みを体系的に整理しています。

当社は2024年に策定した新たな理念体系「MISAWA アイデンティティ」のもと、“HOME”を心の拠りどころと定義し、事業活動を展開してきました。本報告書では、当社の事業紹介にとどまらず、本報告書を通じた対話から共創の好循環を生み出すことを目的に、自治体や企業・研究機関など多様なパートナーとともに、社会課題解決や新たな価値創造に挑む「共創」の取り組みを重点的に紹介しています。

特集「共創事例」では、過酷な極地・宇宙環境での居住技術を追求する国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA／理事長 山川宏）や、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所（極地研／所長 野木義史）との共同研究をはじめ、未来志向の複合開発型のまちづくり「ASMACHI（アスマチ）」などの具体例を掲載しました。さらに、人的資本経営のページでは、多様な事業領域で活躍する現場社員による座談会を掲載。行動指針「MISAWA VALUE」のもとで試行錯誤しながら挑戦を続ける社員のリアルなストーリーを通じ、社員一人ひとりの成長が企業の持続的発展を支える組織風土を分かりやすく発信しています。

当社は、本報告書を取引先やお客さま、地域社会、社員などの共創パートナーとの対話を深める「コミュニケーションツール」として位置づけています。今後は、共創パートナーとの双方向のコミュニケーションを一層活性化させることで、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

■「ミサワホーム統合報告書 2026」の概要

・公開サイト： 統合報告書 <https://www.misawa.co.jp/corporate/about/misawair.html>

・対象期間： 2025年4月1日～2026年3月31日

・ページ構成：

Chapter 1 イン트로ダクション

理念体系

トップメッセージ

Chapter 2 価値創造ストーリー

社会課題解決の歴史／重要課題（マテリアリティ）／価値創造プロセス／価値創造の源泉

Chapter 3 事業共創の取り組み

新築事業／ストック事業／まちづくり事業／海外事業／ウェルネス事業／

共創事例：「未来に向けた私たちの共創の取り組み」

Chapter 4 成長を支える取り組み

人的資本経営／社員座談会：「想いの先に、共に創る“HOME”がある」／デザイン思想と知的財産／

研究開発・先進的な取り組み／DX戦略／環境課題への貢献／お客さま満足向上への取り組み／

PLTグループとの連携／コーポレートガバナンス

Chapter 5 コーポレート情報

主な財務・非財務データ／会社情報／編集方針

以 上

＊この件に関する問い合わせ先＊

ミサワホーム(株) 管理本部 広報・渉外部 コーポレートコミュニケーション課 有川太郎 小山内学

TEL：03-3349-8088／FAX：03-5381-7838／E-mail：koho@home.misawa.co.jp

未来をまちづくる **PLT** Group

プライム ライフ テクノロジーズグループは、パナソニック ホームズ、トヨタホーム、ミサワホーム、パナソニック建設エンジニアリング、松村組を事業会社として「未来をまちづくる PLT」をコーポレートメッセージに掲げ、顧客課題と社会課題の解決に取り組んでいます。

※プライム ライフ テクノロジーズ(株)は、2020 年 1 月にパナソニック（現パナソニックホールディングス）とトヨタ自動車が発立し、三井物産を加えた 3 社を株主とする会社です。